

平成21年度事業報告

1 研究テーマ

酒造用原料米の酒造適性に関する研究

2 研究の現況・進捗状況

(1) 概要

酒米研究会は、原料米の酒造適性を総合的に研究すること及び当該酒造期に使用される原料米の性質をできるだけ早期に把握し、それぞれの原料米に適した酒造管理を行えるようにすることを目的としている。

主な活動は、酒米研究会総会及び酒米懇談会の開催並びに原料米の全国統一分析である。また、本会は酒類製造技術者のみならず、育種・栽培関係者、米に関する研究者等、広く酒米に関心を持つ者も会員として受け入れている。現在の会員構成は、282名の個人と5機関から成っている。

酒米懇談会においては、静岡県で育成された酒米新品種「誉富士」(1題)、米タンパク質がもたらす食味と酒造掛米適性の美味しい関係(1題)、MRIによる米粒内水分分布の観察(1題)、地球温暖化が北日本のイネの収量変動に及ぼす影響(1題)、植物プロバイオティクスの開発研究－植物共生細菌の環境調和型イネ栽培技術への応用(1題)といった、様々な観点から話題提供をお願いし、活発な意見交換がなされ、参加者にとって大きな収穫になった。

原料米の全国統一分析は、20年度産米について例年どおり行い、93品種275点の原料米の分析値及び予測される性質について関係者に報告した。

平成21年度産米については早期に収穫された原料米について分析を行い、11月30日に各支部に結果を報告した。また、12月初めまでに各支部において分析が終了した結果について取りまとめ、第1次の速報として12月11日付で関係者に報告した。

研究報告として、イネ栽培時の気象条件と酒造用原料米の酒造適性との関係について、平成15～20年度0次分析データ及び酒類総合研究所で行った実験データについて解析した結果を、日本生物工学会大会で発表を行うとともに研究報文(日本醸造協会誌、109巻、9号、699～711頁、2009年)に取りまとめた。

(2) 研究会開催等

イ 平成21年度酒米研究会総会、第35回酒米研究会

① 開催月日 平成21年5月26日(水)

② 開催場所 東広島市西条西本町28番6号
東広島市市民文化センター

③ 配布資料:役員改選、平成20年度事業報告、平成20年度決算及び21年度予算案、平成20年度産米の分析結果及び平成21年度産米の分析計画等

ロ 第33回酒米懇談会

① 開催月日 平成21年10月9日(金)

② 開催場所 東京都北区王子1-11-1 北とぴあ 7階 第1研修室

講演内容 静岡県で育成された酒米新品種「誉富士」(静岡県産業部こめ室 宮田祐二先生)、「米タンパク質がもたらす食味と酒造掛米適性の美味しい関係」(黄桜株式会社 古川幸子 先生)、「MRIによる米粒内水分分布の観察」(独・食品総合研究所 掘金明美 先生)、「地球温暖化が北日本のイネの収量変動に及ぼす影響」(岩手大学農学部 下野裕之先生)、「植物プロバイオティクスの開発研究－植物共生細菌の環境調和型イネ栽培技術への応用」(理化学研究所 中央研究所 仲下英雄 先生)

④ 出席者 46名

(3) 刊行物の発行等

第33回酒米懇談会要旨集 (平成21年10月)

(4) 原料米全国統一分析

(4-1) 原料米全国統一分析

イ 研究会支部の状況

原料米全国統一分析に関しては、平成21年11月末現在で参加しているグループ数は試料の採取を依頼している機関を含めて30機関である。

ロ 平成20年度産米の分析

平成21年1月～3月に前年から引続き平成20年度産米の分析を行い、93品種275点についての分析結果を集計し、平成21年5月19日付で日本酒造組合中央会会長及び各支部に報告した。

ハ 平成21年度産米の分析

① 早期分析(0次分析)

平成21年度産米の性質把握のための予報的な資料として、事務局が行った酒米の分析データ及び各支部より報告を受けた造り初期の酒造概況、気象及び収穫に関するデータとを合わせ、本年産米の早期予測(0次)として平成21年11月30日付で関係者及び各支部に報告した。

② 1次分析

平成21年度産米については、12月初めまでに分析の終了した原料米について結果をまとめ、0次分析結果と合わせ平成21年度産原料米の性質を予報し、平成21年12月11日付で関係者及び各支部に報告した。

③ 2次分析

2次分析については現在継続中である。

(4-2) ホームページ

酒米研究会ホームページ(<http://www.sakamai.jp/>)において、平成21年5月初旬に平成20年度の酒米分析のデータ及び結果概要を加え更新した。データ公開後6ヶ月間のホームページアクセス件数は、約1400件であり、会員間で有効に活用された。

(4-3) 研究報文等

研究報文: 気象データと原料米の酒造適性との関係、日本醸造協会誌、104, 9, 699-711 (2009))

学会発表: 気象データからの原料米酒造適性の予測、平成21年度日本生物工学会大

会、名古屋

(5) 研究連絡活動等

平成20年度酒造用原料米全国統一分析結果（平成21年5月）

平成21年度早期酒造用原料米全国統一分析結果（0次）（平成21年11月）

平成21年度酒造用原料米全国統一分析結果（1次）（平成21年12月）